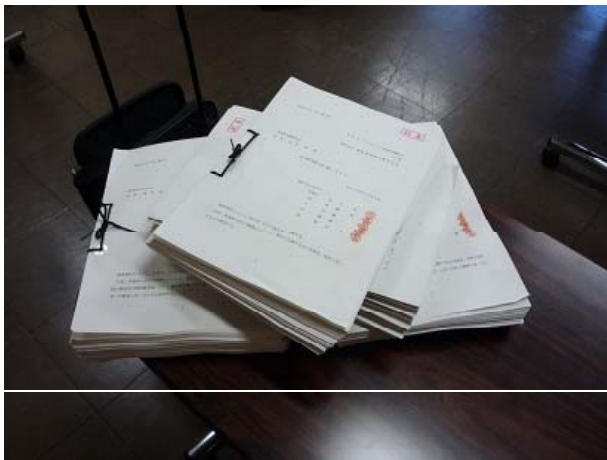


前代未聞！ 1500ページにおよぶ、会社の最終陳述



愛労委最終陳述

12月6日愛労委最終陳述が開かれ、山田委員長の最終陳述がされ、来年の春には判断が下されます。4年にわたる愛労委の闘いが今回の最終陳述で一応一区切りとなりました。これまでの名古屋地本組合員、および各地本の組合員に感謝を申し上げます。

会社の最終陳述書1500ページ

言い訳を重ねる会社、なんと1500pの最終陳述書

会社は前代未聞の1500pにも及ばず最終陳述書を提出してきました。何を言おうと、ボーナスカットや昇給カットは東海労の組織弱体化を狙ったことは明確です。悪いことしたらそれを覆い隠すため言い訳をしたくなるものです。

組織は確実に強化された

会社の組織破壊を狙った攻撃に対し、多くの仲間が証人に立ち敢然と会社弁護士と対決してきました。そして何よりも新たな仲間さえ私たちに加わりまし。来年に出される結論を待つことなく私たちは勝利を確信したのでした。

組合員の皆さん4年間、本当にお疲れさまでした。



ボーナスカットはストライキに対する報復だ！